

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	特別障害者手当等給付事業			事業コード	0395
担当課等	所属名	保健福祉部 障がい福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 障がい福祉課長 佐々木幸司	担当者名	大石 利博	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	共に歩む障がい者福祉の実現	コード 3
	基本事業	障がい者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 2目 特別障害者手当等給付事業 (002-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和39年度～)		
事務事業の概要	身体または精神に常時特別な介護を要する程度の障害のある者(児)に対し、手当を支給することにより、福祉の増進を図る。					
根拠法令等	特別児童扶養手当の支給に関する法律(昭和39年7月2日法律第134号) 障害児福祉手当及び特別障害者手当の支給に関する省令(昭和50年8月13日号外厚生省令第34号) 特別障害者手当等支給事務取扱要領(昭和61年4月1日市長決裁)					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
特別児童扶養手当の支給に関する法律(昭和39年7月2日法律第134号)						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
在宅障害者の増加に伴い、対象者は年々増加している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	精神又は身体に常時特別な介護を要する程度の障害のある者(児)で手当の支給を希望する者(児)(A:特別障害者手当/B:障害児福祉手当/C:経過的福祉手当)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 特別障害者手当受給権者数	単位	人
				B. 障害児福祉手当受給権者数	単位	人
				C. 経過的福祉手当受給権者数	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 対象者からの申請に基づき認定作業を行い、支給決定者に対して口座振込により手当を支給する。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  前年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 特別障害者手当受給者数	単位	人
				B. 障害児福祉手当受給者数	単位	人
				C. 経過的福祉手当受給者数	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	手当の支給により障害によって生じる経済的・精神的負担を軽減する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 特別障害者手当受給者数/受給権者数*100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 障害児福祉手当受給者数/受給権者数*100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				C. 経過的福祉手当受給者数/受給権者数*100 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	就労している障がい者割合(障がい者アンケート)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	特別障害者手当受給権者数	人	3406	3836	4278	4292	4576	4576	年度
対象 指標B	障害児福祉手当受給権者数	人	1965	1936	2008	1965	1948	1948	年度
対象 指標C	経過的福祉手当受給権者数	人	286	251	220	240	240	240	年度
活動 指標A	特別障害者手当受給者数	人	3288	3710	4170	4218	4492	4492	年度
活動 指標B	障害児福祉手当受給者数	人	1935	1883	1936	1911	1912	1912	年度
活動 指標C	経過的福祉手当受給者数	人	286	251	220	240	240	240	年度
成果 指標A	特別障害者手当受給者数/受給権者数*100	%	96.5	96.7	97.5	98.3	98.2	98.2	年度
成果 指標B	障害児福祉手当受給者数/受給権者数*100	%	98.5	97.3	96.4	97.3	98.2	98.2	年度
成果 指標C	経過的福祉手当受給者数/受給権者数*100	%	100	100	100	100	100	100	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	118,820	129,251	141,259	142,456	149,249	149,249	****
財源 内訳	④国	千円	89,114	96,798	105,943	106,841	111,916	111,916	****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	29,706	32,453	35,316	35,615	37,333	37,333	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	118,820	129,251	141,259	142,456	149,249	149,249	****
	延べ業務時間数	時間	480	480	480	480	480	480	****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	120,740	131,171	143,179	144,376	151,169	151,169	****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 法定事務であることから、検討の余地はない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 受給者の経済的負担が増え、日常生活に支障をきたす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 扶助費として、手当額が法令で定められている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 法令で定められた台帳整備等の事務があることから、これ以上の削減は無理である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公的扶助であり、受給するに当たり基準を設けているため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公的扶助であるため。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 法に基づいて執行される事業であり、適正に執行されるべきものである。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特になし
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 法定事務であり, 適正に執行している。							
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                     </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
									
方向付けの理由と改革改善の内容 法定事務であり, 今後も適正な執行に努める。									